



INCLUSION
FUJISAWA

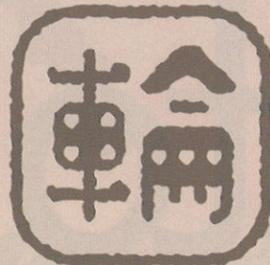
社会福祉法人藤沢育成会

moderato

【モデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】

Vol.104





藤沢育成会とつながりのある団体にスポットを当てます

12



園児たちには、地域の人々と交流しながら、この地域で育ってもらうことを大切にしたいです。

奈良岡恵美子園長先生

わかくさとの交流会について

もともと御所見愛児園では、近隣の高齢者施設のご利用者と歌を歌うなどの交流がありました。そのため、障がいのある方との交流に関しても、少し不思議そうにする様子はあるものの、違和感なくコミュニケーションが取れていました。特に、わかくさとの交流会については、作った物が作品となり貰えるということに園児たちは喜んでます。園児たちには、これからも地域の人々と交流しながら、この地域で育ってもらうことを大切にしたいです。

今後の展望について

今年度はハロウィンの時期に、御所見愛児園から地域の事業所にお菓子を預け、ハロウィンの日に、園児たちがお菓子をもらいに行く企画で交流する機会がありました。今後は園児たちと直接わかくさに見学に行き、交流を深められたらと思っています。



今回は、社会福祉法人一石会 御所見愛児園とアートスペースわかくさの交流会についてご紹介します。

御所見愛児園とアートスペースわかくさ交流会とは？

2022年に、藤沢育成会が主催したイベントである「いんくるアート」という企画で、アートスペースわかくさ(以後「わかくさ」と表記)のきりしね 作品を御所見愛児園に置かせていただきました。その際に、わかくさの利用者と御所見愛児園の園児たちで何か交流できないかと相談し、ビーズのワークショップを開催したことをきっかけに交流会が始まりました。2023年より毎年、わかくさの利用者が御所見愛児園へ訪問し、卒園を迎える園児を対象にワークショップを開催しています。わかくさの利用者が園児に作品の作り方について、会話を楽しみながら教えるなどの交流の場となっています。ワークショップの内容は、ビーズリースの作製やきりしねを使った共同作品づくりをしています。これまで、卒園を迎える園児たちを中心に交流会を3年間実施しました。



きりしねとは？

機織りで余った端切れや残糸のこと。職員の「棄てるのは勿体ない」という声から、それを活用してアート作品にしています。

交流会でのわかくさの利用者の様子

園児たちにビーズの作り方を教えることで、自信にもつながりました。交流会を重ねるごとに、利用者から創作のアイデアを考えたり、当日も自ら役割を担い、目を輝かせて生き活きと関わり、準備から片付けまで主体的に行うようになりました。また、今年の交流会では、合間に園児たちと会話をしたり、腕相撲をして過ごしました。腕相撲では、力加減を考えて、園児たちが勝つような気遣いを見せ、「私もやりたい」と園児からも好評でした。

地域のお祭りにて

2024年11月に地域行事である御所見文化祭にわかくさも出店をしました。御所見愛児園の卒園児である小学生が、販売品のビーズボールを見て「これ、作った事あるよ!」と声をかけてくれました。御所見愛児園とわかくさの交流会が、地域のこどもたちの記憶に残っている事がわかるエピソードでした。継続してやっていきたいですね。

アートスペースわかくさ職員



後援会いずみ 入会のご案内

後援会「いずみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。

(問合せ先：0466-28-1488)

「インクルージョンふじさわ」を支える仲間となり一緒に活動しませんか



個人会員：年額 2,000円から

団体会員：年額 10,000円から

会費納入：振込先 郵便局 口座番号：00240-5-65378

口座名義：社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ会長渡部昭

「あっと！」

日常の中で見つけたアート

ちぎり絵で綴るアートなダイアリー

表紙解説



湘南あおぞらを利用している友保さんは、日中活動のある時間にちぎり絵を行います。たて15センチ、よこ10センチの決まった台紙に黙々とちぎった色紙を貼り付けます。創作活動を始めてから作った作品は、もう数百枚となりました。その時の気分や意欲によって、ちぎる紙の色やかたち、貼り方はさまざま。まるでそれは日々の想いや感情を記した日記のようです。友保さんが一枚一枚をどんな想いで綴ったのかを想像しながらこの写真を見ると、ひとつひとつのちぎり絵がまた違ったように見えるかもしれません。



湘南あおぞら 友保さん

➔ 湘南だいち児童発達支援センター ぶれっじ 卒園製作

3月21日に第11回ぶれっじの卒園式が執り行われました。写真は卒園式に向けてみんなで取り組んだ卒園製作です。年長さんは宇宙飛行士、年中さんはロケット、年少さんは惑星をそれぞれ作成しました。職員や保護者の方からのメッセージも貼り、いろいろな想いが詰まった大きな作品になりました。卒園児さん、小学校へ入学しても元気にのびのび成長してくださいね！そして4月になり、新規入園の子どもたちが加わりました。昨年度から利用していた子どもたちもクラスや環境が変わり、緊張もみられますが、みんな元気よく登園しています。2025年度もぶれっじで健やかな子どもたちの成長をサポートできればと思います。



／つくってみませんか？／ 世界で一つのオリジナルデザインクッキー



湘南だいちで始まったオリジナルプリントクッキーは、みらい社の「パン工房あうにーる」が制作を引き継いでから半年が経ちました。おかげさまでご好評をいただいております。工房で丹念に焼き上げたクッキーに、お客様からご提供いただいた画像（イラスト・文字・写真いずれも可）を、ほぼそのままの形で印刷することができます。

記念日のお祝い品や、大切な方への贈りものとしてはもちろん、イベントなどの宣伝用としても

ご活用いただけます。ぜひ制作をご検討されてはいかがでしょうか。まずは「パン工房あうにーる」まで、お気軽にお問い合わせください。



@avenir.miraisha

お問い合わせ みらい社
電話 0466-83-6481



サイズ直径69mm・厚さ4.5mm(印刷可能範囲は59mm) 5枚から注文受付(100枚以上の場合は少々お時間をいただきます)

藤沢育成会の事業の最新情報から求人募集まで!!

藤沢育成会のホームページへアクセスお待ちしております!

QRコードからアクセスまたは【藤沢育成会】で検索
URL : <https://www.f-kusei.or.jp>
スマートフォンからもアクセスできます

